

週間漁海況情報—第27号

平成27年7月14日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週火曜日夜間に更新します。

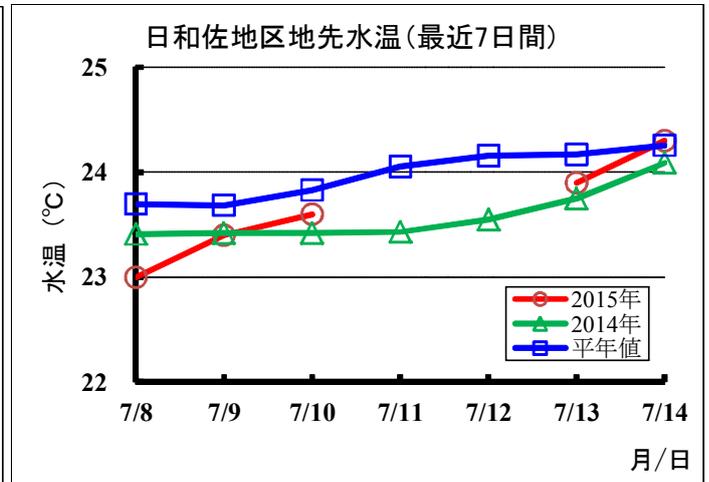
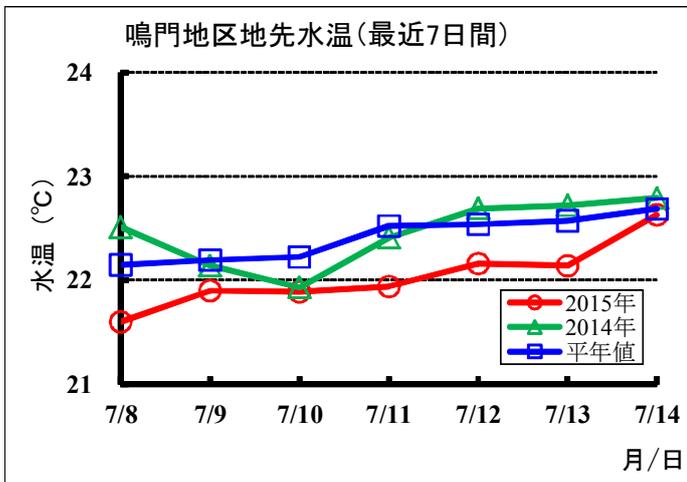
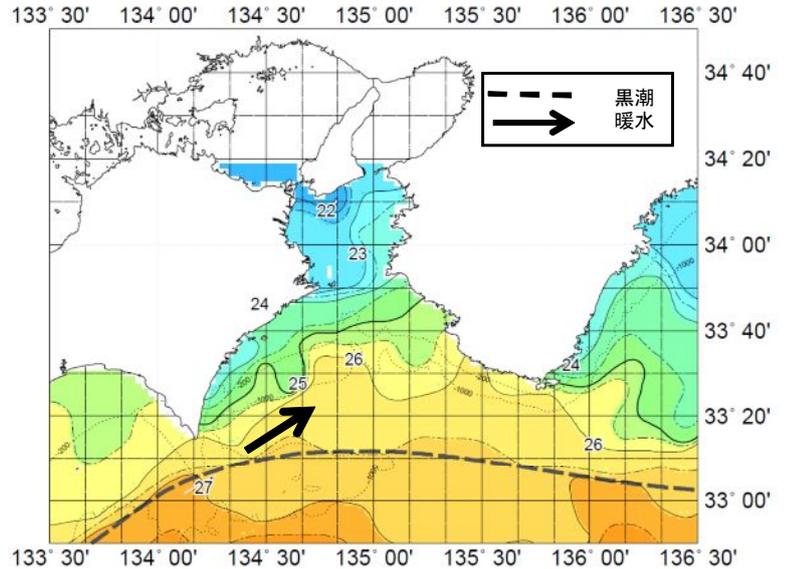
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H27.7.14）を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は26℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で21～22℃台、紀伊水道では21～23℃台、海部沿岸は22～24℃台である。紀伊水道外域では室戸岬沖からの暖水流入が見られる。



地先水温: 最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の21.6～22.6℃、日和佐地区は「やや低め」～「平年並み」の23.0～24.3℃、牟岐地区は「平年並み」～「やや高め」の23.0～24.1℃で推移した。

水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

*7/11及び7/12の日和佐地区地先水温は美波庁舎改築に伴う揚水ポンプの停止により欠測

2. 漁況の経過

台風9号による荒天のため、出漁回数が少なかった。

延縄：海部沿岸でアカムツが0.7トン（1日1隻あたり18kg）、大主体にマサバが0.2トン（同11kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、ウルメイワシが0.3トン（同35kg）、小主体にマアジが0.2トン（同13kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが56.3トン（同469kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2015年7月6日～2015年7月12日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	41	735	18	
		マサバ	15	168	11	大主体
ウルメイワシ		10	349	35		
マアジ		13	165	13	小主体	
パッチ網	紀伊水道	シラス	120	56,250	469	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の7月7日～7月13日においても、台風の影響で出漁回数少なく、海部沿岸では、延縄で小主体にアカムツが0.3トン、紀伊水道では、パッチ網でシラスが29.5トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖において「やや離岸」、潮岬沖において「やや離岸」～「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の22～23℃台、日和佐地先で「やや低め」～「平年並み」の24～25℃台で推移する見込み。